



学びと誇りが実感できるまち

～科学研究に挑戦してみよう！～

令和4年7月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

朝顔につるべ取られてもらい水 (加賀野千代女)

子供たちの活躍が続いています。2つ紹介しましょう。

1つ目は、6月12日(日)に行われた「中学生英語スピーチ大会」のことです。コロナ感染症の影響で、昨年度はビデオによる発表しかできていませんでしたが、今回はふれあいセンターで実施しました。12名の発表者は、自分自身の体験談や家族に対する思い、夢や目標に向かって努力していることなど、練習してきた成果を身振り手振りを交え、流暢な英語で発表しました。他校の生徒の発表から学ぶこともたくさんあったことと思います。

2つ目は、6月18日(土)に行われた「小学生陸上記録会」のことです。この記録会も台風やコロナ感染症の影響で4年ぶりの開催となりました。今回は、様々な行事と日程が重なり参加者が130名と少なかったのですが、6年男子800m走で大会新記録が出るなど、鍛えてきた力を存分に発揮しました。

また、この記録会には、毎年、庄原中学校陸上部の皆さんが大会運営の補助員として積極的に参加しており、競技の円滑な運営に貢献しています。感謝です。

さて、今回は夏休みを控え、自分の時間を有効に活用して取り組むことができる科学研究のことについてです。子供たちが日常生活の中や読書などを通して、「なぜそうなるのだろう」「不思議だな」など、疑問や関心をもつことが科学研究のきっかけになるといわれています。その疑問や関心をもったことについて考え、観察や実験などを通して調べていけば、きっと、なぞが解け、新しい発見もでき、もっと探究したいという意欲も湧いてくると思います。

科学研究は、自然事象の中からの気づき、テーマの設定や仮説の設定、研究・検証計画の立案、観察や実験の実施、結果の検討、分析・考察、まとめ(表現)をするなど「探究(問題解決)過程」のフルコースです。ちょっとしたきっかけから研究を通して探究していく喜びを味わってほしいと思っています。

研究類型	ポイント
①観察・観測を主とする研究	・長期間の観察データをもとに共通する特徴や一般的なきまりを見出す。
②実験を主とする研究	・実験結果をもとに自然と照らし合わせ、自然の事物・現象の規則性を見出す。
③採集・調査を主とする研究	・採集したものから共通した特徴や環境との関係などを見出す。調査によって得られた種類や数量などのデータから規則性や環境とのかかわりを見出す。